

# ASIRU - アシル -

令和5年6月13日発行 第7号



## 初任段階教員（1年次）オンライン交流会②

本号では、前号に引き続き、交流の中で見られた、初任段階教員（1年次）の先生方のよさや大切にしてほしい視点、今後の業務推進に係るポイントなどを紹介します。

### 生徒指導・学級 HR 経営等に関わる交流の様子から…

学習や生活のルールが守れらず、繰り返し注意してしまうことが多いです。子どもが自ら律していけるようにしたいです。



授業の流れから脱線するような子どもの発言・行動をどうしたらよいでしょう。できるだけ耳を傾けるようにしています。

友だちとの関係が上手くいかないことがある子どもについては、思いを聞いたり 困り感の背景を想像したりするようにしています。



子どもの気持ちを前向きに動かす言葉かけが難しいです。先輩教諭の言葉がけから、どんな時に子どもの意欲が高まるのかを見とるようにしています。

### 交流から見た先生方の取組～次のような発言が見られました

◆子どもの教育的ニーズを踏まえ、教師としてのよりよい関わりを模索し続ける先生方の姿勢がわかります。

◆日常生活の諸問題について、子どもの自発的・自治的な活動に期待する先生方の姿が見られます。



個や集団に働きかけ、発達支持的な生徒指導へ

子ども自ら課題や目標を見だし解決に向かう「自己指導能力」の育成へ



### 今後の生徒指導・学級 HR 経営に向けて

★きまりや約束事は子どもの話合いによってつくられる

・子どもの日常的な困り感やよりよい学校生活への願いを基に、自由な意見交換を大切にしながら形づくっていきます。

忙しい時は、ルールやきまりを伝達することに終始しがちです。子どもと一緒に考えることで、「こうしてみよう!」と動き出す姿を見たいですね。

### Guidance

ガイダンス（集団指導）の充実を図っているからこそ、カウンセリング（個別指導）が必要な子どもも増えてきます。双方を車の両輪と捉えましょう。

### Counseling



★「カウンセリング機能」の充実

・子どもに困り感や不適応感が見られる場合は、生活や人間関係などに対する迷いや悩みを傾聴し、子供にとってよりよい過ごし方や学び方を共に模索し、子どもが自己の可能性や適性について自覚を深められるよう個別にかかわっていきます。担任が一人で抱え込まず、チームで対応することも大切です。



### <情報提供>

上記内容について、「もっと知りたい、深めたい」とお考えの方は、「令和5年度小学校・中学校教育課程改善の手引（北海道教育庁学校養育局義務教育課）」「生徒指導提要（令和4年12月文部科学省）」をご覧ください。



令和5年度  
「教育課程改善の手引」



生徒指導提要